



何十年ぶりかの三島キャンパス雪化粧



第45号

静岡県三島市文教町 2-31-145  
日本大学国際関係学部  
校友会

## ◎常任幹事会

平成二十六年六月七日(土)午後三時三十分から、国際関係学部本校舎校舎十五号館五階(五〇四教室)において開催された。相田信次会長挨拶の後、会長進行により議事に移り、幹事会提案事項について田中由雄幹事長から各項目毎詳細にわたり説明があり審議された。

## ○幹事会

平成二十六年六月七日(土)午後三時三十分から、常任幹事会に引き続いて幹事会が開催された。関野幹雄常任幹事の司会で進行され、相田信次会長挨拶の後、議長団・書記が選出された。議長には齊藤聰常任幹事、副議長には日吉智幹事、書記には塩谷典子幹事がそれぞれ選出され、次の議題が審議された。

平成二十六年度事業計画(案)  
平成二十六年度予算(案)  
平成二十五年度決算報告

平成二十六年度事業計画(案)  
平成二十六年度新幹事等に関する件

就職合同面接会実行委員に関する件

役員改選に関する件

就職合同面接会実行委員に関する件

校友会会員名簿活用について

その他

田中由雄幹事長から、平成二十五年度事業報告引き続き平成二十五年度決算報告の一件が報告され、宮川守会計監査から監査報告があり、それぞれ承認された。

続いて平成二十六年度事業計画(案)について及び平成二十六年度収支予算(案)については田中由雄幹事長から提案説明がなされ、審議の結果、二議案とも承認された。

校友会会員名簿完成までの校友への通知等を蜜にするため、平成二十五年度卒業生で本校友会会長賞及び

優秀賞を授与された者並びに桜栄会幹事で国際関係学部六名・食物栄養学科十名を平成二十六年度新幹事として事務局から推薦があった。また、役員で会計担当の瀬川晶子常任幹事から塩谷典子幹事に交代となる報告があり承認された。

役員改選に関する件については、田中由雄幹事長から平成二十七年三月三十一日付現役員の任期満了に伴い次期役員を会則第九条第一項に基づき平成二十六年五月十日開催の会長・副会长会議に於いて会長候補者として横山雅人副会长をまた、相田信次会長を顧問とし、副会长・幹事長及び常任幹事については再任することで総会に提案し承認を得ることとなつた。

就職合同面接会実行委員に関する件については田中由雄幹事長から国際関係学部四年生及び短期大学部二年生の卒業予定者対象とした就職合同面接会を平成二十三年度から開催している。昨年度は平成二十五年九月十八日に第三回就職合同面接会を開催し十八社の企業で二十六名の学生の参加があり、本年度も引き続き開催する計画である。

実行委員会として別紙名簿の方々を委員として委嘱したい旨の提案がなされ、審議の結果、承認された。

続いて校友会会員名簿活用についてでは田中由雄幹事長から現在は国際関係学部及び短期大学部(三島)卒業者のデータの修正を終了しており、各科同窓会或は各期で必要とする場合は事務局へ申し出願いたい旨の報告がなされた。

その他としては田中由雄幹事長から、会報(第四十五号)発行について例年のとおり校友会優秀賞授与者個人四名及び各学生団体の委員長三名に原稿の依頼をする旨の報告がされた。

## 平成二十六年度 常任幹事会・幹事会開催

# 「さらなる飛躍に向けて」



国際関係学部学部長

渡邊 武一郎

国際関係学部校友会の皆さまにおかれましては、益々ご清栄のことと心よりお喜び申し上げます。

また、平素より国際関係学部、短期大学部三島校舎に対し感謝申し上げるとともに、厚く御礼申し上げます。

本年度は、国際関係学部国際総合政策学科に四二三名、国際教養学科に三二〇名、短期大学部ビジネス教養学科に六三名、食物栄養学科に一二二名、専攻科食物栄養専攻に二一名、大学院国際関係研究科博士前期課程には十名と、全体で九五六名の新しい学生を迎えることが出来ました。

国際関係学部では今年度から新たな試みとして、新一年生の英語能力判定試験の結果、上位五%の学生による英語特別クラスを設置しました。このクラス

ります。今後は、この新カリキュラムの検証をし、改訂、改善したいと考えております。更に、学部改組を受けまして、大学院のカリキュラムの改訂にも着手し、これまで以上に変動の激しい社会情勢に対応していくと考えます。

今年度より元内閣府副大臣の石田勝之先生始め、様々な分野に精通された新しい先生方に本

学部の教員として加わっています。石田先生にはこれまでのご経験を生かしていただきました。石田先生にはこれ

のためのご尽力に感謝申しあげます。

また、アフリカ研究の専門家である八塚春名先生には、

積極的に学生をアフリカ・ケニアに研修に連れて行っていただきことをお願いすると共に、来年度にはスワヒリ語の講座の開講していただく予定です。他に

も、コミュニケーション論の専門家である小川直人先生、更に

は、海外、特に欧米の大学との

国際交流において素晴らしい実績をお持ちの大川英明先生、日本語教育のスペシャリストである松浦康世先生をお迎えし、国際関係学部の更なるグローバル化を推し進めていきます。

また、四年前に行いました学部改組が、今年度平成二十六年度をもちまして、完成年次を迎えます。これで、一年生から四年まで、すべての学生が新しく

なります。今後は、この新カリキュラムの検証をし、改訂、改善したいと考えております。更に、学部改組を受けまして、大学院のカリキュラムの改訂にも着手し、これまで以上に変動の激しい社会情勢に対応していくと考えます。

今年度より元内閣府副大臣の石田勝之先生始め、様々な分野に精通された新しい先生方に本学部の教員として加わっています。石田先生にはこれまでのご経験を生かしていただきました。石田先生にはこれのためのご尽力に感謝申しあげます。また、アフリカ研究の専門家である八塚春名先生には、積極的に学生をアフリカ・ケニアに研修に連れて行っていただきことをお願いすると共に、来年度にはスワヒリ語の講座の開講していただく予定です。他にも、コミュニケーション論の専門家である小川直人先生、更に

は、海外、特に欧米の大学との国際交流において素晴らしい実績をお持ちの大川英明先生、日本語教育のスペシャリストである松浦康世先生をお迎えし、国際関係学部の更なるグローバル化を推し進めていきます。

また、四年前に行いました学部改組が、今年度平成二十六年度をもちまして、完成年次を迎えます。これで、一年生から四年まで、すべての学生が新しく

なります。今後は、この新カリキュラムの検証をし、改訂、改善したいと考えております。更に、学部改組を受けまして、大学院のカリキュラムの改訂にも着手し、これまで以上に変動の激しい社会情勢に対応していくと考えます。



国際関係学部事務局長

大村 正文

日本大学国際関係学部・短期大学部校友会の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素から奨学金等校友会のご支援に対し、心より感謝申し上げます。平成二十六年度国際関係学部校友会総会並びに懇親会は、七月十九日(土)みしまプラザホテルにて理事長田中英壽先生をお招きのもと盛大に開催され、渡邊学部長はじめ学部の執行部等多数の関係者をご招待いただきお礼申し上げます。また、総会及び懇親会開催に幹事として係わられた皆様の労に対し感謝いたし

ます。写真撮影の後、和やかな中、病院に替わる新病院として「日

「本大学病院」が十月から開院する予定です。そして、学校法人日本大学では初めての小学校である「日本大学藤沢小学校」が平成二十七年度の開校を目指し、「新学部」は平成二十八年度開設に向けて、それぞれ検討が進んでいます。さらに七月には商学部、藤沢小学校、八月には通信教育部校舎、日本大学病院の竣工が執り行われます。

国際関係学部では、七月からグランドに人工芝を敷設する工事が始まつており、秋口からは三島高等学校と国際関係学部共同事業としての新総合体育館が建設着工となる予定です。この新体育館は古くなつた第一体育館（大講堂）・第二体育館・八号館（食堂）の三つの建物の機能を集約・統合した建物となり三階建てで一階は食堂・売店・多目的運動場及びトレーニングルーム、二階はバスケットコート四面（バレー・ボール・バドミントン等にも対応）・事務室・更衣室・トイレ等を三階は二四五mのランニングコースを設置いたします。総合体育館であります。これによつて、平成二十四年に竣工した北口校舎と合わせ、さらなる教育環境及び学園環境の向上が図られ授業並びに課外活動等

に大きな成果が期待されます。さらに二十九年度以降となりますが、学生寮（女子寮）が建設予定となつています。そして教育面においては、本年度から「英語特別クラス」の設置を行いました。通常日本語で行われる科目において、英語で授業を行い多くの英語に接しさせ、英語能力の向上を目指し、TOEFLやTOEIC受験、海外大学への留学の積極的な参加を通して、国際交流や国際社会で活躍できる人材を育成するためであります。

日本大学としては、学部間併願を可能とした統一入試（N方式）の拡充や「基礎学力到達度テスト」を導入し、新たな付属校推薦入試を開始しました。平成二十六年度からは各学部において順次、全学共通初年次教育（自主創造の基礎）の導入がされます。

国際関係学部は質の高い学生の輩出のための将来を見据えた教学施策及び教育環境整備を進めております。校友会員の皆様には、こうした教育活動にご理解のもと益々のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

日本大学校友会会長の田中英壽様のご臨席を賜り平成二十六年度国際関係学部校友会総会と懇親会がみしまプラザホテルに於いて盛大に開催されました。

田中英壽理事長より二〇一二〇年の東京オリンピックに向けてスポーツ日大の復活を目指して二年後の平成二十八年四月に開校する危機管理と競技スポーツに関する新学部が開設します。又日本大学創立一三〇周年記念事業募金のお願いの報告も有りましたので校友会員の皆様のご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。

国際関係学部校友会は三年前より在学生の就職向上の一環として国際関係学部四年生及び短期大学部二年生（ビジネス教養

部長には、国際関係学部の改革と再生をお願いします。又渡辺武一郎新学部長は僧侶の資格を持つています。学生に対しても勉学と精神面での国際性のある学生を配出しつして下さい。

私の会長職の任期は二〇一五年三月までの任期です。前会長の柴田正顧問と瀬川一男顧問より会長職を仰せつかり早九年目に成ります。歴代会長職の恥じぬ用に国際関係学部校友会役員には特に若手の学部卒業生を期し又学校法人日本大学と本部校友会と各地学部校友会と各都道府県校友会との緊密な関係を築きまして校友の御支援を宜しくお願い致します。日本大学学長に大塚吉兵衛次期学長の再任が決まり九月一日に正式就任します。大塚吉兵衛次期学長の抱負は自主創造型パーソンの育成・外国人学生にも魅力ある展開を教師と学生間に双方向の授業を大学院教育の国際化を推進など全学部的な教學改革に意欲語りました。又本年四月一日付で国際関係学部の新学部長に渡辺武一郎教授（四七歳）が就任されました。渡辺武一郎教授は国際関係学部の第七期卒業生です。渡辺武一郎学部長の抱負は創設された当時の気風を受け継ぐ学部と外国の提携大学との相互認定協定の拡大と語学教育に力を注ぎ原点へ、渡辺武一郎学部長には、国際関係学部の改革と再生をお願いします。又渡辺武一郎新学部長は僧侶の資格を持っています。学生に対しても勉学と精神面での国際性のある学生を配出しつして下さい。

## 相田 信次



国際関係学部校友会会长

## 会長挨拶



# 「国際関係学部、新時代に」



国際関係学部校友会副会長  
国際関係学部同窓会会长

## 宮下 公雄

校友の皆さんにおかれましては多方面でご活躍のほどお喜び申します。国際関係学部国際関係学科一期生の宮下公雄と申します。母校日本大学国際関係学部を卒業し早三十数年の月日が経とうとしています。

先月七月十一日、日本大학교友会役員総会が東京ドームホテルにて開催され、田中英壽理事長が日本大学理事長に満場一致で再任されました。おりしも昨年二〇二〇年のオリンピックが東京開催に決まり、田中英壽理事長がJOCの副会長をされることも有り、これから六年間の選手の育成にも日本大学が果たす役割も大変大きくなると思われ、常に時代の中心に座す我が母校日本大学に自らも心が熱くなる思いでした。

来賓として、多くの著名学部長の中に国際関係学部新学部長の姿がありました。佐藤三武朗

喜び申し上げます。

我々の卒業学部から初めて誕生しました渡邊学部長の誕生をお

同時に、国際関係学部卒業生から校友会会长をと、三十年前の西村美恵子会長当時から長年の懸案でも有りました校友会会長職に、二〇一五年四月より、横山雅人氏、国際関係学部第三期生を推薦させて頂く事になりました。

横山雅人氏は、静岡県三島市出身で国際文化学科卒業、建設会社に勤務する傍ら趣味は富士登山と言い切るスポーツマンであります。大学時代から文武若き学部長、渡邊武一郎氏が、この四月より学部長に推薦されました。

新学部長は文化人類学が専門で、大変温厚な性格から同窓会でも無くてはならない大変重要な人材でも有ります。

これまで国際関係学部発展の為にご尽力くださいました。日本大学創立者山田顕義公の伝記著名な小説家でもあり、国際関係学部を、ある時にはプロデューサーとして、ある時には映画監督のように国際関係学部を育て上げて下さいました佐藤前学部長に感謝いたしますと供に、

我々の卒業学部から初めて誕生しました渡邊学部長の誕生をお喜び申し上げます。

同時に、国際関係学部卒業生が求められる時代であります。最近「雑談力」なども重要視されておりますが、人と人の触れ合いやコミュニケーション能力がより重要な時代になりました。昨年今期の入学生に向けてオーブンキャンパスを見学させて頂いた時、テストの点数だけで入学した我々の時代とは違う、自信たっぷりにプレゼンテーションを行う輝きに満ちた後輩の姿に大変感銘を受けました。

国際関係学部卒業生にはさまざまな業界で活躍するスペシャリストが揃っています。新学部長には、企業経営者、企業の役員など最先端で働いている国際

学卒業後即戦力としての企業人が求められる時代であります。関係学部卒業生が、在校生の為に役立てる機会をより多く設けて頂き、自身のスキルを学生に継承すると同時に、卒業生にも立ち返るプラットフォームの機会を作つて頂ければ幸いです。国際関係学部卒業生の皆様も同窓会を、自分磨きの場として大いに活用して頂きたいと思います。私も同窓会の折には、自身が輸入販売している美味しいワインを持って出席する予定であります。これからも国際関係学部校友会に皆様のご支援をお願いいたします。

会員の皆様方には、お元気で御礼申し上げます。

準会員の皆様には、入学後、学園生活を、満喫しつつも、い

## 「情報の活用」



国際関係学部校友会顧問

## 柴 田 正

つ間にか就活に入り、来春には、多くの方が卒業とともに、社会人として、次のステージのドアを自ずから開けなければなりません。

校友会と致しましては、就職について、少しでもお役に立てれば、という思いで、「合同面接会」を実施することになりました。おかげ様で、今回で四年目（四回目）を迎えることとなりました。昨年は、二桁の内定者取得を目指し掲げ、結果、内定者数は、十一名となりました。今年は、昨年以上の内定者数を獲得すべく活動中です。

では、息抜く暇もなく、時には別方面からの「情報の活用」も必要ではないでしょうか。私が卒業した昭和四十年代中頃には、携帯電話、パソコン、電卓等は個人で所有することはもとより、存在すら知らなかつたものです。当時、人生のお手本（師匠）の一つは映画でした。

「*Intermission*」「*英・エンパイア誌*」「*国映画ベスト*」「*True!*」「*Go For Broke!*」載っていました。一位～十位の中で、一位「七人の侍」日本・一九五四年・主演・志村喬、四位「自転車泥棒」イタリア・一九四八年・主演・ランベル

ト・マジョラーニ、九位「恐怖の報酬」フランス・一九五三年・主演・イヴ・モンタンが選ばれています。

この三作品は切り口を変えてみると、一、主人公は就活中である。二、人は何の為に、誰のために、何を目標として働くか、どこに生き甲斐を感じるかのメッセージが織り込まれ、重苦しくないよう表現されている。三、モノクロ作品であり、光の具合による、色の想像を見る側に委ねている。

講釈は由として、たまには映画で一服も、良い気分転換になると想います。

仕事に就くということは厳しいものですが、立ちはだかる壁は、その人の成長にあわせ、越えられるものしか現れないと言えられています。

T.V., スマホ等で、就活に関する様々な情報が入ってきますが、自分を信じ、今何をすべきを考え、「焦らず、慌てず、諦めず」、目標に向かつて、次なるステージへの扉を、力強く押し開いて下さい。

「*Dreams Come True!*」



国際関係学部校友会 参与

## 渡邊 洋子

校友会の皆様におかれまして

は御健勝にお過ごしの事と存じます。私は食物栄養科二期生として日本大学に入学し、卒業後は赤堀栄養学園に勤務しました。五年間の赤堀先生の学園で

は教務と事業部に属し、NHK の今日の料理や日本テレビの三分クッキングの助手を務め週刊誌の雑誌の料理、福島民友新聞、朝日新聞の料理等あらゆる方面に渡り先生を助け、仕事は夜中になることも多く、大変な毎日でした。エトワール海渡の教室を担当した時には一晩で二

〇〇人に料理を教えました。その時身に付いたのは計つていては間に合わないので一つの材料を計り、あとは目分量で分ける

という事です。そのため自分が計りになつた様にピッタリ合う様になり、後に役立ちました。

又桜栄会の会長も平井会長の後つとめさせていただき母校の同窓会員としても微力ながら過ごさせていただきました。

御殿場校友会支部の立ち上げも行いおかげ様にて次世代の若い校友もがんばっています。

静岡東部地域の学校給食や地域の村おこし等の講師を頼まれて有名なお宅を訪問し、料理に関する記事を集め、「グル

子の方から声をかけられます。そんな時は心からうれしく、又皆の成長ぶりに驚くことが多いこの頃です。日本大学で学んだことの素晴しさを校友の皆様は感じていることと思います。

昨日大にはハワイ、中国、ロシア等からの留学生が多く、その時には翠月古流家元として皆様に華道の体験をしてもらい、更に書道や日本料理なども実習します。そんな時には日本文化を七十年近くやってきて良かったと感じております。

故恩師小佐野先生と共に静岡県の郷土料理を五年間に渡り調査致しましたのが十数年前でしたが現在B級グルメ等郷土料理が各地で栄んになり競つて地産地消を目指しております。

室伏誠教授のゼミではその地産地消が基づき様々な商品を開発しています。私も仲間に加えて頂き、戸田村の深海魚、チヨウザメ、伊勢参りの祝膳等の研究もさせてもらいました。

私の郷里の御殿場では「みくりやそば」を出しましたのでその次として「みくりや箱ずし」を出したいたいと思ひ希望の方には指導して広めております。御殿場の未来を考える女性の会会長として郷土の发展も願い、年齢を重ねてこれからも更に微力ながら日本大学と郷土のために働きたいと思います。



ことを学び、栄養士の資格を取ることができました。この二年間の中で特に印象に残っていることは校外

くださった教職員の方々、多くの友人、そして家族に感謝しています。本当にありがとうございました。

各学生団体代表者



國際教養學科三年

中尾光太郎

話してきたこと、調理や盛り付け、下膳処理、経腸栄養での食事風景を見させて頂いたことなど、普段授業等で学んでいるだけでは経験できないことが多く、実際に自分の目で見て経験してみると、栄養士は知識や技術を身に着けるのは重要ですが、それ以上に、その環境や病院、患者さんなどに臨機応変に対応できるようにならなくてはいけないのだと改めて感じました。大変なことも多かつたですがとても良い経験になりました。専攻科に入学し、さらに多くのことを学び、管理栄養士を目指しています。

現在、特に力を入れて取り組んでいることは、ゼミナール活動です。農作業や商品開発、イベントでの商品販売など普段ではなかなかできない事なので、とても良い勉強・経験になっています。その中で、私は今年から、ゼミ長をやらせていただいている。人前に出て何かをするというのはあまり得意な方ではないので、周りの人の力を借りながら

この大学四年間で私は様々なことを経験することができ、積極的に挑戦することができました。これらの経験を、社会人として働いていくうえで活かしていくといふと 思います。

委員会の仕事とは特定事項の連絡や書類の配布、行事の通知などの雑務が主です。そして委員長の仕事とは必要に応じて委員や団体に指示や助言を与え、その結果の責任を理由の如何に問わず負うことです。加えて問題があつた場合、それを対処する。もしくは問題が発生する前に相談をしたり聞いたりする程度です。

彼らは一様に誇りを持つてゐることはあります。そしてその誇りが時に団体間で軋轢を生じさせます。また団体同士の繋がりが極端に薄らいでいます。各団体が独立して存在することは組織ごとの統率力は高くなる反面、他との連携によつて目的を果たすことが難しくなります。この状況は望ましいものではあります。願わくは互いにその活動に興味を持ち、互いを認め尊敬しあつてゐる状態であつて欲しいです。なぜなら私達は目的目標は違えど等しく前へ前へと努力する者だからです。

國際教養學科三年



二  
体育会

なる反面、他との連携によって目的を果たすことが難しくなります。この状況は望ましいものではあります。願わくは互いにその活動に興味を持ち、互いを認め尊敬しあつて、いる状態であつて欲しいです。なぜなら私達は目的目標は違えど等しく前へ前へと努力する者だからです。

日本大学国際関係学部に入學して三年目を迎えるこの学部で学ぶことが出来るのもあとわずかとなりました。入学当初は、まさか自分が体育会の委員長になり各体育会団体を率いて活動させていただけるとは到底思っていませんでした。自己成長することができ、そして素晴らしい経験を積ませていただけたことに感謝しています。

にも関東選手権に必ず出場し、優勝して恩返しをしたいと思います。私にとつて今のチームメイトや今まで携わつて頂いた先輩とアメフトを通して過ごしてきた時間、または過ごしている時間はかげがえのない財産であり、引退や卒業を考えるととても哀しいものです。だからこそ今しかないこの時を大切に悔いの残らぬよう取り組んで行いたいと思います。

活動をやり、小学校から高校までは柔道に本腰を入れてやつてきました。そして高校生の時に膝を手術しその影響で大学では熱血的な運動部で本腰を入れて活動するつもありはありませんでした。しかし、間講式後の部活動勧誘の時にたまたまアメリカンフットボール部の先輩に声をかけていただき先輩たちの熱い勧誘を受けもう一度スポーツを

また、大学三年生になると、当時の体育会顧問の指名により、私が委員長という大役を任せていただくことになりました。就任当時は、体育会と文化会のシステムや運営活動内容が分からず、なれない運営活動にてこずりながらも、学生課の方々や、執行部員の大きなサポートのおかげで、体育会執行部の基盤を作りあげることができたと思っています。本当に感謝しております。これからも体育会執行部は懸命に活動していきますので、温かい目で見守って下さい。

やることを決心しました。今思ふと、この決断が今日の私を形成する大きな要因であつたと思います。ここでやると決めた私ですが、勿論アメリカンフットボールの右も左も分からず、さらには背中を始めて数多くの怪我に悩まされ幾度かアメリカンフットボールを辞めようかと思つてしまふ時期がありました。そんなときには私の心の支えとなつたのが先輩たちの勝負に

対する熱意と励ました。先輩たちの熱い思いに励まされ、自分も頑張る事が出来たと思っています。昨年度初の関東選手権出場を果たすも勝利する事が出来ず、今シーズンこそは今までチームを創り上げてきてくださった先輩方の為にも関東選手権に必ず出場し、優勝して恩返しをしたいと思います。私にとって今のチームメイトや今まで携わって頂いた先輩とアメフトを通して過ごしてきた時間、または過ごしている時間はかけがえのない財産であり、引退や卒業を考えるととても哀しいものです。だからこそ今しかないこの時を大切に悔いの残らぬよう取り組んで行いたいと思います。

また、大学三年生になると、当時の体育会顧問の指名により、私が委員長という大役を任せていただくことになりました。就任当時は、体育会と文化会のシステムや運営活動内容が分からず、なれない運営活動にてこずりながらも、学生課の方々や、執行部員の大きなサポートのおかげで、体育会執行部の基盤を作りあげることができたと思っています。本当に感謝しております。これからも体育会執行部は懸命に活動していきますので、温かい目で見守って下さい。

最後に、今までの大学生活で培うことが出来た経験は一生の物になると思っております。大学生活で私を支えてくださっている教職員の方々、部活動のチームメイト、先輩方々、そして多くの友達に感謝しています。私はこれからも残りの少ない大学生活を無駄にすることのないよう精進して参ります。そして多くの感謝を忘れず行動して行きます。ありがとうございました。

# 平成 25 年度 事 業 報 告

- 1 国際関係学部校友会会長賞等授与  
 平成25年度日本大学国際関係学部在学生から、次の者が国際関係学部長から推薦された。  
 ・校友会会长賞（副賞：奨励金）は、国際関係学部3名に贈られ平成26年3月25日の卒業式当日、グランドプリンスホテル高輪において授与式が行われた。  
 ・校友会優秀賞（副賞：奨励金）は、国際関係学部2名及び短期大学部3名に贈られ平成26年3月25日の卒業式当日、グランドプリンスホテル高輪において授与式が行われた。  
 ・校友会優秀賞（副賞：奨励金）は、国際関係学部3名及び短期大学部1名並びに1団体に贈られ平成26年4月2日の開講式当日授与式が行われた。
- ①校友会会长賞（副賞：奨励金）  
 望月 彩乃（国際関係学部4年） 松山 直弘（国際交流学科4年）  
 大門 由佳（国際交流学科4年）
- ②校友会優秀賞（副賞：奨励金）  
 石川 雄大（国際ビジネス情報学科4年） 森井 健将（国際ビジネス情報学科4年）  
 奈良 彩夏（専攻科食物栄養専攻2年） 須藤 静香（食物栄養学科2年）  
 田中 菜絵（食物栄養学科2年）
- ③校友会優秀賞（副賞：奨励金）  
 堀川 未来夢（国際総合政策学科3年） 山本 太郎（国際総合政策学科2年）  
 ダニエルムイバ（国際教養学科2年） 田島 理瑛（専攻科食物栄養専攻1年）  
 団体 ゴルフ部
- 1 日大スポーツ13  
 1,150部を平成25年4月国際関係学部・短期大学部（三島）各学科の新入生全員に対して入学祝として渡した。
- 1 会報発行  
 会報44号を平成25年9月1日付け23頁 11,900部を発行した。
- 1 各科同窓会等補助  
 ①国際同窓会・桜栄会に対する補助  
 ②大学の体育会に対する補助  
 ③箱根駅伝（予選会含む）応援に対する補助  
 ④伊豆マラソン大会応援に対する補助
- 1 常任幹事会  
 平成25年6月8日（土）16時から、国際関係学部本校舎 校舎15号館5階において開催した。
- 1 幹事会  
 平成25年6月8日（土）17時から、国際関係学部本校舎 校舎15号館5階において開催した。
- 1 総会並びに懇親会  
 平成25年7月20日（土）16時から、国際関係学部三島駅北口校舎において開催した。
- 1 国際校友会公式WEBサイト更新  
 平成25年4月から公式WEBサイト（ホームページ）に年間5回に渡り校友会行事を写真集として更新しました。
- 1 箱根駅伝予選会応援  
 平成25年10月19日（土）国営昭和記念公園コースのスタート・ゴール地点及び中間地点で応援した。
- 1 就職合同面接会  
 平成25年9月18日（水）13時から17時まで、国際関係学部三島駅北口校舎6階に於いて国際関係学部・短期大学部の卒業予定者に対する就職支援の一環とした合同面接会を開催した。（参加企業18社・参加学生26名：内定者11名）
- 1 箱根駅伝応援  
 平成26年1月3日（金）復路スタート応援地点で応援した。また、平成26年1月2日（木）往路ゴール応援地点及び平成26年1月3日（金）復路スタート応援地点で日本大学デッパーズ・吹奏楽研究会並びに国際関係学部体育会所属チアリーディング部・文化会所属吹奏楽部の学生が応援に参加した。
- 1 伊豆マラソン大会応援  
 平成26年2月16日（日）修善寺駅北口スタート応援地点及び三島市役所別館ゴール応援地点で応援した。また、国際関係学部体育会所属チアリーディング部・文化会所属吹奏楽部の学生が応援に参加した。

## 平成 25 年度 収 支 決 算 書 (平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日) (単位:円)

支 出 の 部				収 入 の 部			
項 目	予 算 額	決 算 額	差 額	項 目	予 算 額	決 算 額	差 額
獎 学 費	450,000	490,000	△ 40,000	会 費 収 入	14,350,000	13,946,000	△ 404,000
日大スポーツ購入費	350,000	336,000	14,000	雜 収 入	540,000	594,930	△ 54,930
校友会報発行費	250,000	456,750	△ 206,750				
各科同窓会等補助	350,000	170,000	180,000				
学生団体補助	800,000	530,000	270,000				
総会並びに懇親会費	1,000,000	744,053	255,947				
箱根駅伝応援補助	1,000,000	1,048,877	△ 48,877				
本部校友会会費	470,000	470,000	0				
卒業記念品費	2,500,000	2,702,500	△ 202,500				
会議会合費	300,000	222,687	77,313				
通信運搬費	1,000,000	1,112,192	△ 112,192				
ホームページ運営費	400,000	71,400	328,600				
事務費	500,000	341,048	158,952				
会員名簿作成費	1,800,000	228,950	1,571,050				
就職説明会運営費	400,000	235,452	164,548				
日本大学130周年記念寄付金	100,000	150,000	△ 50,000				
雑費	800,000	767,235	32,765				
国際関係学部校友会奨学金支援基金	500,000	500,000	0				
予備費	100,000	0	100,000				
計	13,070,000	10,577,144	2,492,856	計	14,890,000	14,540,930	349,070
基 金 繼 入 額	1,410,000	1,410,000	0	基 金 繰 出 額	0	0	0
次 年 度 繰 越 金 (繰越金)	23,405,151	25,548,937	△ 2,143,786	前 年 度 繰 越 金	22,995,151	22,995,151	0
支 出 の 部 合 計	37,885,151	37,536,081	349,070	収 入 の 部 合 計	37,885,151	37,536,081	349,070

## 貸 借 対 照 表 (平成 25 年 3 月 31 日現在) (単位:円)

借 方		貸 方	
項 目	金 額	項 目	金 額
普 通 預 金	40,548,937	基 金	18,240,000
定 期 預 金	3,240,000	前 年 度 繰 越 金	16,830,000
		本 年 度 繰 入 額	1,410,000
		本 年 度 繰 出 額	0
		次 年 度 繰 越 金	25,548,937
		繰 越 金	25,548,937
合 計	43,788,937	合 計	43,788,937

## 基 金 の 内 訳 (単位:円)

項 目	前 年 度 繰 越 額	本 年 度 繰 入 額	本 年 度 繰 出 額	合 计
基 金	16,830,000	1,410,000	0	18,240,000
日本大学創立150周年記念事業基金準備金	5,610,000	470,000	0	6,080,000
国際関係学部創立50周年記念事業基金準備金	5,610,000	470,000	0	6,080,000
三島学園開設75周年記念事業基金準備金	5,610,000	470,000	0	6,080,000
計	16,830,000	1,410,000	0	18,240,000

平成 25 年度収入について関係帳簿並びに証拠書類を精査いたしましたが、記帳その他正確であることを認めます。

平成 26 年 5 月 10 日

会計監査 宮川 守印  
藤本 文彦印

# 平成26年度事業計画

- 1 国際関係学部校友会会長賞等授与（副賞：奨励金もしくは奨学金）  
 日本大学国際関係学部及び短期大学部（三島校舎）を平成26年3月卒業・4月進級の予定者を対象とする。  
 ・校友会会長賞並びに奨励金 国際関係学部 4年卒業予定者 3名  
 ・校友会優秀賞並びに奨励金 国際関係学部 4年卒業予定者 3名  
 ・校友会会長賞並びに奨学金 短期大学部（専攻科含む） 2年卒業予定者 3名  
 国際関係学部 1～3年在学生 3名  
 短期大学部（専攻科含む） 1年在学生 3名
- 1 日大スポーツ14  
 1,150部を平成26年4月国際関係学部及び短期大学部（三島校舎）各学科の新入生全員に対して入学祝として渡す。
- 1 会報発行  
 会報45号（平成26年9月1日付）22頁 35,000部。
- 1 各科同窓会等補助  
 ①各科同窓会に対する補助。  
 ②大学体育会・文化会に対する補助。  
 ③箱根駅伝応援に対する補助。  
 ④伊豆マラソン大会応援に対する補助。  
 ⑤全日本大学女子駅伝対校選手権大会応援に対する補助。  
 ⑥全日本大学駅伝対校選手権大会応援に対する補助
- 1 常任幹事会  
 平成26年6月7日（土）16時30分から、国際関係学部本校校舎において開催する。
- 1 幹事会  
 平成26年6月7日（土）17時から、国際関係学部本校校舎において開催する。
- 1 総会並びに懇親会  
 平成26年7月19日（土）16時から、みしまプラザホテルにおいて開催する。
- 1 国際校友会公式WEBサイト更新
- 1 就職合同面接会  
 平成26年9月17日（水）国際関係学部三島駅北口校舎に於いて国際関係学部・短期大学部の平成26年度卒業予定者等を対象とした県内本学出身代表者企業参加による就職合同面接会を開催する。
- 1 全日本大学女子駅伝応援  
 平成26年10月26日（日）仙台市陸上競技場スタート応援地点仙台市役所前ゴール応援地点で応援する。
- 1 箱根駅伝応援  
 平成27年1月3日（土）復路スタート応援地点で応援する。また、平成27年1月2日（金）往路ゴール応援地点及び平成27年1月3日（金）復路スタート応援地点で国際関係学部チアリーディング部スパークルズ・文化会所属吹奏楽部の学生が応援に参加する。
- 1 伊豆マラソン大会応援  
 平成27年2月15日（日）修善寺駅北口スタート応援地点及び三島市役所別館ゴール応援地点で応援する。また、国際関係学部チアリーディング部スパークルズ・文化会所属吹奏楽部の学生が応援に参加する。

## 平成26年度 収支予算書（平成26年4月1日～平成27年3月31日）（単位:円）

支出の部				収入の部			
項目	本年度予算額	前年度予算額	差額	項目	本年度予算額	前年度予算額	差額
奨学費	490,000	450,000	40,000	会費収入	14,000,000	14,350,000	△ 350,000
日大スポーツ購入費	350,000	350,000	0	雜収入	590,000	540,000	△ 50,000
校友会報発行費	460,000	250,000	210,000				
各科同窓会等補助	170,000	350,000	△ 180,000				
学生団体補助	800,000	800,000	0				
総会並びに懇親会費	1,000,000	1,000,000	0				
箱根駅伝応援補助	1,000,000	1,000,000	0				
本部校友会会費	470,000	470,000	0				
卒業記念品費	2,750,000	2,500,000	250,000				
会議会合費	300,000	300,000	0				
通信運搬費	1,000,000	1,000,000	0				
ホームページ運営費	400,000	400,000	0				
事務費	400,000	500,000	△ 100,000				
会員名簿作成費	500,000	1,800,000	△ 1,300,000				
就職説明会運営費	400,000	400,000	0				
日本大学130周年記念寄付金	100,000	100,000	0				
雑費	800,000	800,000	0				
国際関係学部校友会奨学金支援基金	500,000	500,000	0				
予備費	100,000	100,000	0				
計	11,990,000	13,070,000	△ 1,080,000	計	14,590,000	14,890,000	△ 300,000
基金繰入額	900,000	1,410,000	△ 510,000	基金繰出額	0	0	0
次年度繰越金（繰越金）	27,249,937	23,405,151	3,843,786	前年度繰越金	25,548,937	22,995,151	2,553,786
支出の部合計	40,138,937	37,885,151	2,253,786	収入の部合計	40,138,937	37,885,151	2,253,786

## 基金の内訳

（単位:円）

項目	前年度繰越額	本年度繰入額	本年度繰出額	合計
基 金	18,240,000	900,000	0	19,140,000
日本大学創立150周年記念事業基金準備金	6,080,000	300,000	0	6,380,000
国際関係学部創立50周年記念事業基金準備金	6,080,000	300,000	0	6,380,000
三島学園開設75周年記念事業基金準備金	6,080,000	300,000	0	6,380,000
計	18,240,000	900,000	0	19,140,000

## 平成 26 年度役員

役	職	氏名(在学年度)
教	養	
幹	事	丸山富美男(28)
幹	事	坂詰正衛(28・29)
幹	事	安東安生(29・30)
幹	事	寺崎哲郎(29・30)
幹	事	関 哲男(29・30)
幹	事	林田達郎(29・30)
幹	事	森 伸夫(30・31)
幹	事	道見俊廣(30・31)
幹	事	小野 武(30・31)
幹	事	馬場妙子(30・31)
幹	事	屋鋪公平(30・31)
幹	事	根岸元宏(31・32)
幹	事	渡部浩司(31・32)
幹	事	大村日出雄(32)
幹	事	甲田知由(33)
幹	事	吉野洋一(35)
幹	事	鈴木 肇(35)
幹	事	御供政紀(35・36)
幹	事	小澤文郎(36)
幹	事	大西良雄(37)
幹	事	小川武司(37)
幹	事	多田清太郎(37)
幹	事	坂口正剛(37)
幹	事	小石川宣照(37)
幹	事	遠藤日出夫(37)
幹	事	渡辺博夫(37)
幹	事	杉田朋昭(39)
幹	事	両角 勇(42)
幹	事	江川 洋(42)
幹	事	藤幡俊量(46)
幹	事	高藤省三(49)
幹	事	瀧本 博(53)
桜文会		
幹	事	岩崎尚枝(41・42)
幹	事	小永井京子(43・44)
幹	事	高橋真理子(44・45)
幹	事	榎本睦美(46・47)
幹	事	石井千枝子(45・46)
幹	事	松村啓子(51・52)
幹	事	佐野有美(52・53)
幹	事	大塚久子(52・53)

役	職	氏名(在学年度)
会	長	相田信次(44・45)
副	会長	宮下公雄(54~57)
副	会長	横山雅人(56~59)
副	会長	濱田義之(45)
副	会長	山田浩子(41・42)
副	会長	江本博勝(46・47)
副	会長	野中美香(55・56)
副	会長	弓場重明(44・45)
幹	事長	田中由雄(42・43)
常	任幹事 (庶務担当)	関野幹雄(48・49)
常	任幹事 (庶務担当)	関野浩二(57~60)
常	任幹事 (会計担当)	山瀬 匠(08・09)
常	任幹事 (会計担当)	塩谷典子(56~59)
常	任幹事	鈴木義樹(28・29)
常	任幹事	市川紀子(35・36)
常	任幹事	染谷徳昭(42・43)
常	任幹事	土屋貞明(42・43)
常	任幹事	林田孝二(43)
常	任幹事	山口良児(43・44)
常	任幹事	平岩美知子(44・45)
常	任幹事	久保田博明(45・46)
常	任幹事	遠藤晶子(45・46)
常	任幹事	西野和衛(46・47)
常	任幹事	瀬川 宏(47・48)
常	任幹事	神戸絹代(47・48)
常	任幹事	鈴木 允(48)
常	任幹事	大島裕二(52・53)
常	任幹事	瀬川晶子(53・54)
常	任幹事	露木ひろみ(52・53)
常	任幹事	斎藤 聰(54~57)
常	任幹事	柳川浩昭(54~57)
常	任幹事	高野真一(54~57)
常	任幹事	松原裕二(54~57)
常	任幹事	小松徳弘(56~59)
常	任幹事	高野 誠(57~60)
常	任幹事	山本宏治(57~60)
常	任幹事	勝又義博(57~60)
常	任幹事	野田正人(62・63)
常	任幹事	久保和之(63・01)
常	任幹事	廣岡達郎(01~04)
常	任幹事	齋藤 実(01~04)
常	任幹事	藤澤博隆(03・04)
常	任幹事	明石浩一(05~09)
常	任幹事	渡邊孝哉(09・10)
会	計監査	宮川 守(47・48)
会	計監査	藤本文彦(52・53)

任期(H24.4.1 ~H27.3.31)

役	職	氏名(在学年度)
顧	問	小椋貞夫(28・29)
顧	問	角田義廣(30・31)
顧	問	平井千枝(34・35)
顧	問	柴田 正(41・42)
顧	問	小早川隆義(42・43)
参	与	渡辺洋子(35・36)
参	与	岩崎一雄(43・44)

### 公式WEBサイト



URL <http://www.nu-ir-koyukai.jp/>

役職	氏名(在学年度)	役職	氏名(在学年度)	役職	氏名(在学年度)
幹事	高橋美鶴(40・41)	幹事	甲斐忠則(51・52)	幹事	武田裕美(55・56)
幹事	石黒栄美子(41・42)	幹事	後藤善夫(52・53)	幹事	勝亦幾代(56・57)
幹事	鳥羽山資子(41・42)	幹事	加藤喜章(53・54)	幹事	北川早苗(56・57)
幹事	秋山悦子(41・42)	幹事	鈴木理平(54・55)	幹事	山崎睦子(57・58)
幹事	渡辺あき子(41・42)	幹事	内野祥司(55・56)	幹事	高野直美(58・59)
幹事	嶋美也子(41・42)	幹事	守野敏也(55・56)	幹事	阿部昭子(59・60)
幹事	伊藝睦(41・42)	幹事	山田良(55・56)	幹事	神田留美子(60・61)
幹事	駿藤春代(42・43)	幹事	杉山勝行(57・58)	幹事	白石忍(63・01)
幹事	石原泰代(42・43)	幹事	黒田文量(59・60)	幹事	渡邊陽子(01・02)
幹事	篠田光代(42・43)	幹事	金城三十二(59・60)	幹事	高鹿真弓(03・04)
幹事	影山貴美枝(43・44)	幹事	武井直子(60・61)	幹事	片柳容子(03・04)
幹事	土屋時子(43・44)	幹事	土佐谷泰子(61・62)	幹事	古屋美帆(06・07)
幹事	柴田敬子(44・45)	幹事	田伏正和(01・02)	幹事	山崎幸恵(08・09)
幹事	川村千代子(45・46)	幹事	名雪しげみ(01・02)	幹事	林隆子(09・10)
幹事	辻綠(45・46)	幹事	菅江稔(02・03)	幹事	成島敦子(09・10)
幹事	小林秀実(45・46)	幹事	明石知恵美(02・03)	幹事	星美保子(10・11)
幹事	杉本清美(46・47)	幹事	川原浩貴(03・04)	幹事	工藤美咲(10・11)
幹事	佐藤奈津美(47・48)	幹事	小野和彥(03・04)	商経・一部	
幹事	鈴木佳津江(47・48)	幹事	坂口聖剛(03・04)	幹事	萩野谷肇(41・42)
幹事	神田みつ子(47・48)	幹事	今川高宏(04・05)	幹事	上田定義(41・42)
幹事	勝又昌代(48・49)	幹事	町野智彦(05・06)	幹事	加藤久貴(46・47)
幹事	原康子(48・49)	幹事	池田昌史(08・09)	幹事	秋山稔明(46・47)
幹事	碓井久美子(49・50)	幹事	成田伸行(08・09)	幹事	野田栄(47・48)
幹事	岩田智加子(50・51)	桜栄会		幹事	多田清吾(47・48)
幹事	大沼めぐみ(50・51)	幹事	山口玲子(34・35)	幹事	辻本真由美(51・52)
幹事	峰田富美子(51・52)	幹事	阿部麻子(35・36)	幹事	吉川浩司(54・55)
幹事	山口智佳子(51・52)	幹事	木崎有里子(35・36)	幹事	後藤幸江(58・59)
幹事	堤令子(52・53)	幹事	渡辺かよ子(35・36)	幹事	齋藤みどり(59・60)
幹事	白井道代(52・53)	幹事	板垣和代(36・37)	幹事	長澤裕子(59・60)
幹事	石橋治代(52・53)	幹事	佐野茂子(36・37)	幹事	中村由美子(61・62)
幹事	岩崎美浪(52・53)	幹事	小泉陽子(36・37)	幹事	南まり子(03・04)
幹事	竹内厚子(52・53)	幹事	中村満里子(37・38)	幹事	川口恭子(04・05)
幹事	宮澤正江(52・53)	幹事	川口裕子(37・38)	幹事	白川美保(05・06)
幹事	遠藤豊美(52・53)	幹事	米山日出子(37・38)	幹事	小柴慶子(06・07)
幹事	長谷川規子(52・53)	幹事	金井美智子(38・39)	幹事	勝又美咲(16・17)
幹事	松川順子(52・53)	幹事	小坂照子(38・39)	幹事	日吉智(23・24)
幹事	松崎光子(52・53)	幹事	塩谷まさよ(38・39)	商経・二部	
幹事	中澤小雪(53・54)	幹事	井原康恵(38・39)	幹事	杉山敏明(34・35)
幹事	齋藤裕子(53・54)	幹事	望月千登世(38・39)	幹事	渡辺勝(38・39)
幹事	長田智子(53・54)	幹事	浅田義志子(39・40)	幹事	久保田勝(38・39)
幹事	押見恵美子(53・54)	幹事	秋山幸子(39・40)	幹事	佐野勝己(39・40)
幹事	船石圭子(53・54)	幹事	関口瑞(39・40)	幹事	土屋忠得(40・41)
幹事	四條里美(53・54)	幹事	福尾つや子(39・40)	幹事	鈴木正八(44・45)
幹事	鷺巣かほる(53・54)	幹事	神部文子(39・40)	幹事	津田正克(50・51)
幹事	藤原和美(53・54)	幹事	伊達伸子(40・41)	幹事	甲斐幸博(51・52)

役	職	氏名(在学年度)
幹	事	笠原奈津子(11・12)
幹	事	宮田朋子(11・12)
幹	事	田角典子(12・13)
幹	事	小林由佳(12・13)
幹	事	赤川智海(12・13)
幹	事	小出祐子(12・13)
幹	事	峯松園美(13・14)
幹	事	山田美穂(13・14)
幹	事	遠藤友海(13・14)
幹	事	清水磨希子(13・14)
幹	事	高橋由実(13・14)
幹	事	米永寿子(13・14)
幹	事	岩田直子(14・15)
幹	事	大沼秋桜子(14・15)
幹	事	高橋美絵子(14・15)
幹	事	石渡麻史(14・15)
幹	事	服部直美(14・15)
幹	事	秋山絵操(14・15)
幹	事	山田真理子(14・15)
幹	事	小野順子(14・15)
幹	事	栗田裕子(15・16)
幹	事	小林久美(15・16)
幹	事	河原崎朱里(15・16)
幹	事	平澤怜子(15・16)
幹	事	榎原友希(15・16)
幹	事	田村美沙子(15・16)
幹	事	植松明菜(15・16)
幹	事	荻島宏予(15・16)
幹	事	渡邊裕未(15・16)
幹	事	荒井沙織(15・16)
幹	事	宇野浩吏(16・17)
幹	事	星野成幸(16・17)
幹	事	渡邊尚(16・17)
幹	事	松島佳奈子(16・17)
幹	事	中西麻純(16・17)
幹	事	増島清美(16・17)
幹	事	萩原美香(16・17)
幹	事	平川綾乃(16・17)
幹	事	綾部久美子(16・17)
幹	事	桑山理沙(16・17)
幹	事	飯田泰恵(17・18)
幹	事	石川裕里佳(17・18)
幹	事	中山朋美(17・18)
幹	事	田中沙季(17・18)
幹	事	堀田裕貴(17・18)
役	職	氏名(在学年度)
幹	事	大山妙子(02・03)
幹	事	羽田真理子(02・03)
幹	事	望月ゆりか(02・03)
幹	事	安田ひとみ(03・04)
幹	事	西村直子(03・04)
幹	事	宮本久美子(03・04)
幹	事	渡邊真理子(03・04)
幹	事	小澤知子(03・04)
幹	事	出口幸子(04・05)
幹	事	井上雅代(04・05)
幹	事	西岡かおり(04・05)
幹	事	田村美保(04・05)
幹	事	岩下志保(05・06)
幹	事	関屋園子(05・06)
幹	事	渡邊千史(05・06)
幹	事	川口由美子(05・06)
幹	事	池谷尚美(05・06)
幹	事	中村理恵子(05・06)
幹	事	遠藤理愛(05・06)
幹	事	神尾かほり(05・06)
幹	事	田中里都美(06・07)
幹	事	鈴木寛子(06・07)
幹	事	山本静香(06・07)
幹	事	佐藤純子(06・07)
幹	事	三須洋美(06・07)
幹	事	齊藤真由美(06・07)
幹	事	和泉久美(07・08)
幹	事	小野澤美和(07・08)
幹	事	小林世以子(07・08)
幹	事	中林香子(07・08)
幹	事	水谷鯉恵(07・08)
幹	事	横田忍(07・08)
幹	事	中橋智子(07・08)
幹	事	神戸アリ沙(08・09)
幹	事	兼房はな(08・09)
幹	事	石崎由香(08・09)
幹	事	佐藤美幸(08・09)
幹	事	大水由佳(09・10)
幹	事	田村理絵(09・10)
幹	事	内田惠(09・10)
幹	事	渡邊明子(09・10)
幹	事	植野敦子(09・10)
幹	事	佐野文美(10・11)
幹	事	鞍本鮎美(11・12)
幹	事	尾間裕仁(11・12)
役	職	氏名(在学年度)
幹	事	原田純子(54・55)
幹	事	池谷美津子(54・55)
幹	事	中澤由利子(54・55)
幹	事	佐伯絵里子(54・55)
幹	事	伊藤若菜(54・55)
幹	事	吉田麻理子(54・55)
幹	事	藤田建江(55・56)
幹	事	小澤里佳子(56・57)
幹	事	深津久美子(56・57)
幹	事	石谷美智子(56・57)
幹	事	田中恵子(57・58)
幹	事	嶋由樹子(57・58)
幹	事	鈴木江利子(57・58)
幹	事	西田昭子(57・58)
幹	事	鈴木敦子(58・59)
幹	事	武藤さゆり(58・59)
幹	事	荻沢洋子(58・59)
幹	事	平澤佳代子(58・59)
幹	事	山田明子(58・59)
幹	事	鈴木佳乃(58・59)
幹	事	中條朝子(59・60)
幹	事	加藤容子(59・60)
幹	事	藤波佳乃(59・60)
幹	事	藤井由紀子(59・60)
幹	事	稻葉桂子(60・61)
幹	事	穂谷野弥生(60・61)
幹	事	小島みちよ(60・61)
幹	事	久保玲華(61・62)
幹	事	山下朋子(61・62)
幹	事	袴田則子(61・62)
幹	事	鷺尾貴子(62・63)
幹	事	田上順子(62・63)
幹	事	山口美樹(62・63)
幹	事	大須賀美穂(62・63)
幹	事	櫻田智栄美(63・01)
幹	事	三宅理砂子(63・01)
幹	事	野上香(63・01)
幹	事	日吉美由紀(63・01)
幹	事	勝俣千穂(63・01)
幹	事	田村尚子(01・02)
幹	事	杉村智恵(01・02)
幹	事	湯原里美(01・02)
幹	事	久保田裕子(01・02)
幹	事	市川智香(01・02)
幹	事	岡本ゆう子(02・03)

役	職	氏	名(在学年度)
幹	事	福田 勝弘	(56~59)
幹	事	宇田 隆康	(56~59)
幹	事	三浦 仁	(57~60)
幹	事	横田 正	(57~60)
幹	事	森田 克彦	(58~61)
幹	事	佐上 菊二	(58~61)
幹	事	小塚 敏久	(58~61)
幹	事	横溝 泰蔵	(59~62)
幹	事	池尻 敏広	(59~62)
幹	事	土田 洋二	(60~63)
幹	事	桑原 健治	(60~63)
幹	事	木俣 かおり	(61~01)
幹	事	増原 伸一	(61~01)
幹	事	犬塚 重暁	(63~03)
幹	事	野口 厚	(63~03)
幹	事	藤田 隆	(63~03)
幹	事	佐藤 淳悦	(01~04)
幹	事	高橋 博樹	(01~04)
幹	事	長谷川 哲夫	(01~04)
幹	事	村上 東洋男	(01~04)
幹	事	須田 啓一郎	(01~04)
幹	事	原田 恭平	(01~04)
幹	事	椿 昌寛	(01~04)
幹	事	南 敦子	(02~05)
幹	事	門脇 正明	(02~05)
幹	事	藤原 誠吾	(02~05)
幹	事	前田 智也	(02~05)
幹	事	坂井 利彰	(02~05)
幹	事	小田 純子	(02~05)
幹	事	田辺 裕司	(02~05)
幹	事	田松 正樹	(02~05)
幹	事	西岡 昌仁	(02~05)
幹	事	鎌田 文一	(02~05)
幹	事	沼尻 正則	(03~06)
幹	事	若松 はるか	(03~06)
幹	事	三宅 大介	(03~06)
幹	事	清水 建	(03~06)
幹	事	小塚 達郎	(03~06)
幹	事	紅林 美智子	(03~07)
幹	事	佐藤 治夫	(04~07)
幹	事	千野 琢磨	(04~07)
幹	事	渡辺 将之	(04~07)
幹	事	杉山 文予	(05~08)
幹	事	江島 照美	(05~08)
幹	事	室伏 寛美	(05~08)

役	職	氏	名(在学年度)
幹	事	原賀 あかり	(22~23)
幹	事	渡邊 愛菜	(22~23)
幹	事	鵜澤 まゆか	(22~23)
幹	事	江打 真衣	(23~24)
幹	事	澤田 明日香	(23~24)
幹	事	諸星 楓	(23~24)
幹	事	朝日 健太	(23~24)
幹	事	木下 史恩	(23~24)
幹	事	鈴木 沙羅	(23~24)
幹	事	田島 理瑛	(23~24)
幹	事	深谷 正城	(23~24)
幹	事	堀 佑美佳	(23~24)
幹	事	守野 恭介	(23~24)
幹	事	須藤 静香	(24~25)
幹	事	田中 菜絵	(24~25)
幹	事	石井 さくら	(24~25)
幹	事	伊東 亜珠沙	(24~25)
幹	事	杉山 亜梨沙	(24~25)
幹	事	成田 安実里	(24~25)
幹	事	山田 瑞歩	(24~25)
幹	事	山本 芽生	(24~25)
幹	事	藤原 麗	(24~25)
幹	事	満間 恵子	(24~25)
工	科		
幹	事	宮下 正俊	(39~40)
幹	事	菅沼 弘	(39~40)
幹	事	渡辺 清	(42~43)
幹	事	赤地 哲也	(42~43)
幹	事	吉田 力	(44~45)
幹	事	長倉 良幸	(44~45)
幹	事	島田 雷太	(44~45)
幹	事	早川 清文	(45~46)
幹	事	三枝 和彦	(46~47)
幹	事	勝間田 太住	(47~48)
幹	事	天野 寿一	(48~49)
幹	事	上原 豊和	(52~53)
幹	事	西家 勝彦	(52~53)
幹	事	埜村 光伸	(53~54)
幹	事	勝呂 千明	(53~54)
幹	事	鈴木 啓太郎	(54~55)
国	際		
幹	事	川口 智彦	(54~57)
幹	事	諏訪部 健	(55~58)
幹	事	木村 貴美和	(55~58)
幹	事	平野 雅之	(56~59)

役	職	氏	名(在学年度)
幹	事	瀧 智草	(17~18)
幹	事	隅田 優美	(17~18)
幹	事	岩代 美貴	(18~19)
幹	事	加藤 未奈	(18~19)
幹	事	澤谷 友香里	(18~19)
幹	事	豊田 彩香	(18~19)
幹	事	野口 明日香	(18~19)
幹	事	藤井 里奈	(18~19)
幹	事	松井 志保美	(18~19)
幹	事	萬両 美幸	(18~19)
幹	事	福島 健嗣	(18~19)
幹	事	村松 海	(18~19)
幹	事	廣江 亜佐美	(18~19)
幹	事	富井 映里	(19~20)
幹	事	木下 涼平	(19~20)
幹	事	中安 美咲	(19~20)
幹	事	藤井 ゆかり	(19~20)
幹	事	山本 靖子	(19~20)
幹	事	三宅 ひとみ	(19~20)
幹	事	青木 裕也	(20~21)
幹	事	小林 可南子	(20~21)
幹	事	石政 未希	(20~21)
幹	事	岩井 友紀	(20~21)
幹	事	澤木 心美	(20~21)
幹	事	杉本 愛季	(20~21)
幹	事	西原 萌恵	(20~21)
幹	事	森山 麻里奈	(20~21)
幹	事	横山 千恵	(20~21)
幹	事	市川 佳夏子	(20~21)
幹	事	青木 萌子	(21~22)
幹	事	長田 知郁	(21~22)
幹	事	清水 遥	(21~22)
幹	事	時吉 結巳	(21~22)
幹	事	湯山 菜名	(21~22)
幹	事	矢田 さき	(21~22)
幹	事	清水 祥子	(21~22)
幹	事	小見山 伊代	(21~22)
幹	事	山下 あゆ	(21~22)
幹	事	高村 美帆	(21~22)
幹	事	桑原 里沙	(22~23)
幹	事	小原 美妃子	(22~23)
幹	事	塩谷 彰子	(22~23)
幹	事	朝比奈 涼子	(22~23)
幹	事	篠原 莉那	(22~23)
幹	事	奈良 彩夏	(22~23)

役	職	氏名(在学年度)
幹	事	笠倉 諒(16~19)
幹	事	中山 優貴(17~20)
幹	事	浅井 啓悟(17~20)
幹	事	芹沢 崇(17~20)
幹	事	関谷 紀志(17~20)
幹	事	長谷川 孝洋(17~20)
幹	事	勝呂 孝(17~20)
幹	事	中島 由人(17~20)
幹	事	水野 弥咲(17~20)
幹	事	笠原菜央子(17~20)
幹	事	古山 結子(17~20)
幹	事	永野 映吏可(18~21)
幹	事	勝又 智子(18~21)
幹	事	西岡 基(18~21)
幹	事	緒方 義明(18~21)
幹	事	後藤奈津子(18~21)
幹	事	祭 興斌(18~21)
幹	事	片柳 健太(18~21)
幹	事	松原 慎(18~21)
幹	事	木佐木枝里(18~21)
幹	事	金井 尊史(18~21)
幹	事	久保田 真未(19~22)
幹	事	佐川 彩子(19~22)
幹	事	御所園智仁(19~22)
幹	事	阿部 裕樹(19~22)
幹	事	佐久間仁輝(20~23)
幹	事	橋本 康弘(20~23)
幹	事	張替 祐介(20~23)
幹	事	山下 昌志(20~23)
幹	事	本田 恵央(20~23)
幹	事	小林 訓史(21~24)
幹	事	中林 広希(21~24)
幹	事	野嶋 聰(21~24)
幹	事	白滝 成美(21~24)
幹	事	茂木 宏之(21~24)
幹	事	岡林 将大(22~25)
幹	事	望月 彩乃(22~25)
幹	事	松山 直弘(22~25)
幹	事	大門 由佳(22~25)
幹	事	石川 雄大(22~25)
幹	事	森井 健将(22~25)

役	職	氏名(在学年度)
幹	事	猪狩 博織(11~14)
幹	事	山下 政幸(11~14)
幹	事	中村 久美(11~14)
幹	事	鈴木 さや夏(13~14)
幹	事	川下 知恵(12~15)
幹	事	鹿内 隼人(12~15)
幹	事	齋藤 慎亮(12~15)
幹	事	山本 克幸(12~15)
幹	事	拓植由美子(12~15)
幹	事	豊永 有美子(12~15)
幹	事	原 順子(12~15)
幹	事	小澤 有礼(12~15)
幹	事	大野 達男(12~15)
幹	事	太田 孝一(13~16)
幹	事	山川 利雄(13~16)
幹	事	浅野 雄介(13~16)
幹	事	本多 加奈(13~16)
幹	事	山本 彩子(13~16)
幹	事	小栗 美緒(13~16)
幹	事	勅使河原 武史(13~16)
幹	事	相見 大輔(13~16)
幹	事	板橋 紗綾香(13~16)
幹	事	武田 泰弘(13~16)
幹	事	浅石 友里子(13~16)
幹	事	渡邊 頌子(13~16)
幹	事	河野 奈津子(14~17)
幹	事	脇田 千草(14~17)
幹	事	網島 昇(14~17)
幹	事	塚田 泰章(14~17)
幹	事	杉町 カウエ(14~17)
幹	事	小川 淳(14~17)
幹	事	内村 彩(14~17)
幹	事	渡邊 賢治(14~17)
幹	事	井出 知里(15~18)
幹	事	井所 博志(15~18)
幹	事	小倉 宏紀(15~18)
幹	事	宮腰 治憲(15~18)
幹	事	田野口 啓太(15~18)
幹	事	菅家 奈都美(15~18)
幹	事	藁谷 和正(17~18)
幹	事	岩井 小百合(16~19)
幹	事	鈴木 弘明(16~19)
幹	事	黒子 佳恵(16~19)
幹	事	大森 未奈子(16~19)

役	職	氏名(在学年度)
幹	事	田尻 美三(05~08)
幹	事	青木 徹(05~08)
幹	事	大嶽 龍一(05~08)
幹	事	沖倉 保宏(06~09)
幹	事	今川 慶(06~09)
幹	事	田中 智康(06~09)
幹	事	久芳 仁(06~09)
幹	事	植松 信二(06~09)
幹	事	小林 寿成(07~10)
幹	事	望月 雅子(07~10)
幹	事	斎藤 美根子(07~10)
幹	事	纈纈 健太郎(07~10)
幹	事	佐竹 篤(07~10)
幹	事	川野 梨恵(07~10)
幹	事	高島 寛幸(08~11)
幹	事	正木 創一(08~11)
幹	事	関根 大助(08~11)
幹	事	井上 善史(08~11)
幹	事	登ヶ谷 祐人(08~11)
幹	事	金子 浩二(08~11)
幹	事	内田 修(08~11)
幹	事	成田 哲浩(09~12)
幹	事	井上 美由紀(09~12)
幹	事	石橋 貴子(09~12)
幹	事	井上 明子(09~12)
幹	事	徳田 瑞希(09~12)
幹	事	斎藤 真規(10~13)
幹	事	長岡 福也(10~13)
幹	事	筒井 靖子(10~13)
幹	事	杉山 祥啓(10~13)
幹	事	大津留 真紀(10~13)
幹	事	大友 仁美(10~13)
幹	事	佐野 京子(12~13)
幹	事	鈴木 亜希子(12~13)
幹	事	園部 真子(12~13)
幹	事	長谷川 郁子(11~14)
幹	事	土元 夏葉(11~14)
幹	事	竹腰 真裕子(11~14)
幹	事	後藤 暢宏(11~14)
幹	事	竹村 直(11~14)
幹	事	木下 真由美(11~14)
幹	事	成田 美雪(11~14)
幹	事	若月 朋子(11~14)
幹	事	斎藤 久美絵(11~14)
幹	事	川村 友江(11~14)

## 国際関係学部 校友会総会開催



国際関係学部校友会

- 一 平成二十五年度事業報告
- 一 平成二十五年度決算報告
- 一 監査報告
- 一 平成二十六年度事業計画(案)
- 一 平成二十六年度予算(案)
- 一 平成二十六年度新幹事等選出
- 一 各周年事業準備金に関する件
- 一 役員改選に関する件
- 一 本部校友会関係行事等について
- 一 各科同窓会活動報告
- 一 その他

に常任幹事・幹事については再任する  
ことで審議した結果、原案どおり承認  
された。

続いて各周年事業準備金については  
田中由雄幹事長から決算報告のとお  
り次年度繰越額二・五五三・七八六円  
となつた。その結果奨学金準備金五  
〇〇・〇〇〇円、周年事業基金準備金  
(各項目とも)三〇〇・〇〇〇円、翌年  
度繰越金一・二五三・七八六円とする提  
案がなされ承認された。

田中由雄幹事長から、平成二十五  
年度事業報告がなされ、続いて平成二  
十五年度決算報告が山瀬匠常任幹事  
(会計担当)から報告、藤本文彦会計  
監査から監査報告があり、それぞれ  
承認された。

平成二十六年度事業計画(案)に關  
する件は田中由雄幹事長から、平成二  
十六年度予算(案)に関する件は山瀬  
匠常任幹事(会計担当)から内容説明  
がなされた。審議の結果、原案どおり  
承認され、二案について案の削除となっ  
た。

平成二十六年七月十九日(土)十六  
時からみしまプラザホテルにおいて総  
会が開催された。

横山雅人副会長の司会でまず昨年  
度総会以降逝去された会員に対して  
黙祷をささげ、続いて野中美香副会長  
の開会が伝えられ進行された。相田信  
次会長挨拶の後、議事に移り、議長団・  
書記が選出された。議長には松原裕二  
常任幹事、副議長には勝又義博常任  
幹事、書記には金井美智子幹事が選  
出され、次の議事について報告及び審  
議された。

会の濱田義之副会長の閉会のことばで  
総会は終了した。

中由雄幹事長の司会で進行された。  
校歌斉唱に始まり相田信次会長挨拶  
の後、来賓挨拶として田中英壽理事  
長・校友会会长及び渡辺武一郎国際関  
係学部長の祝辞があつた。来賓紹介の  
後、大村正文国際関係学部事務局長  
による乾杯のご発声で懇親に移つた。

余興として国際関係学部チアリーディ  
ング部スパークルズによる演技が披露  
され、鈴木充常任幹事の指揮のもと日  
大節の舞となり、宮下公雄副会長によ  
り、万歳三唱で閉会となつた。

懇親会におきましては、恩師であ  
る先生方と共に会員同士が思い出話  
に花を咲かせ、一層親睦を深め終始  
和やかな雰囲気で歓談され、懇親会  
は閉会となりました。

なお、国際関係学部校友会公式W  
EBサイトへ毎年一月下旬には次年  
度の行事予定の掲載を致しますので  
ご覧ください。

## 同窓会だより



国際関係学部同窓会

十回国際関係学部同窓会総会・懇親  
会がアルカディア市ヶ谷にて開催さ  
れました。

今年度の同窓会総会・懇親会には  
約六十名の卒業生来賓の先生方が集  
いました。

総会では宮下公雄副会長より挨拶  
があり、その後、事業報告、会計報  
告と続き、次年度の事業計画が審議  
されました。

懇親会におきましては、恩師であ  
る先生方と共に会員同士が思い出話  
に花を咲かせ、一層親睦を深め終始  
和やかな雰囲気で歓談され、懇親会  
は閉会となりました。

平成二十六年五月十日開催の会長・  
副会長会議に於いて候補者として横  
山雅人副会長を会長に現相田信次会  
長を顧問として、副会長・幹事長並び  
に常任幹事・幹事については再任する  
ことで審議した結果、原案どおり承認  
された。

田中由雄幹事長から決算報告のとお  
り次年度繰越額二・五五三・七八六円  
となつた。その結果奨学金準備金五  
〇〇・〇〇〇円、周年事業基金準備金  
(各項目とも)三〇〇・〇〇〇円、翌年  
度繰越金一・二五三・七八六円とする提  
案がなされ承認された。

本部校友会関係行事等については  
田中由雄幹事長から平成二十六年七  
月十一日東京ドームホテルで開催され  
た平成二十六年度日本大学校友会役  
員総会において提案及び審議項目につ  
いて報告がなされた。

各科同窓会活動報告では、宮下公  
雄副会長から国際関係学部同窓会總  
会が平成二十六年十月十八日(土)国  
際関係学部本校舎校舎十五号館にお  
いて開催される旨の報告がなされた。

その他としては田中由雄幹事長か  
ら「資料として正会員申込用紙を同  
封してありますが、正会員加入により  
学部への、収入増となるので、加入者促  
進に協力願いたいとの要請がなされた。

今後は会員への国際関係学部校友  
会資料等の情報発送として使用いた  
します。

なお、国際関係学部校友会公式W  
EBサイトへ毎年一月下旬には次年  
度の行事予定の掲載を致しますので  
ご覧ください。

## 国際関係学部同窓会

## 「在校生の研究活動と地域」



日本大学短期大学部教授  
食物栄養学科長

### 室伏 誠

専攻科食物栄養専攻を開設した平成十一年の二年前、食物栄養学科のカリキュラムに「卒業研究」という科目を増設しました。いわゆる四年制大学における卒業論文に当たるものです。創設以来、専任の先生方はそれぞれの専門分野の研究を行っています。成果は授業や実験・実習に反映されてきました。しかし、直接専任教員が学生に研究活動を指導することはほとんどありませんでした。むしろクラブ活動（当時は学術団体）としての取り組みが中心でした。

正式な授業として学生が取り組む研究活動ができるようになつたのは本学科が昭和三十四年に開設されてから三十八年後にあります。「卒業研究」は専門科目の中の選択科目として新設

されました。現在、受講者は、在学生の半分以上にもなります。「卒業研究」を開設した理由は、専攻科を新設する際に、学生一人一人の課題研究が「特別研究」として在籍二年間にわたり履修が義務付けられることになつていたからです。その為、専攻科開設前から食物栄養学科の学生に課題研究の取り組みを行つてもらおうというものでした。その結果、新設された専攻科には、食物栄養学科を中心にして短大を卒業した学生の皆さんが毎年数多く入学し、栄養士としてのより専門的知識と、それぞれの研究室に所属して各分野の課題研究を行っています。研究活動を進めるうちに、地域の市町や県との協働、地域企業・団体との連携など、研究活動を通して地域とより深くかかわることが多くなってきました。熱心な学習や研究はその後様々な成果を生んでいます。中でも、今年の平成二十七年度の静岡県の栄養関係採用試験において、採用が決まった八名のうち四名が本学専攻科卒業生であったことは、大変うれしいことです。

いろいろ報じられるニュースの中でも食に関する話題は日々尽きません。人々の食と健康の

専門家として、卒業生の皆様のますますのご活躍を期待いたしております。

最後になりましたが、桜栄会の皆様のますますのご健勝をお祈り申し上げます。

## 「御礼」



桜栄会会長  
食栄二十二期

### 野中 美香

桜栄会会員の皆様におかれま

しては、益々ご健勝の事とお喜び申し上げます。



日本大学短期大学部教授

### 中島 久男

今年はゴーストライター疑惑、

ネイチャーリンガムへの疑惑、号泣

県議会議員の政治活動費の不正

と立て続けに「偽、疑」に関わる事柄が起き、国際的にも真面

目で正直とされていた日本人の信頼を損ねる事件が相次いでい

る。これは何事もバレなければ、虚偽は許されるとする風潮があ

ることからきているのかも知れ

ない。一方、サッカーワールド

カップでのサポーターのゴミ

もこの活動を続けていく所存でありますので何卒、御支援賜りますようお願い申し上げます。

桜栄会会員の皆様の益々のご活躍を心より祈念申し上げます。

専門家として、卒業生の皆様のございますので何卒、御支援賜りますようお願い申し上げます。

まだ日本人の心は捨てたものではないと安心した。小生は年齢的にとうとう高齢者の仲間入りし、体力的な老いを少し自覚するようになったが、まだまだ年齢を考えず大型バイクも乗りたいし、色々な趣味も楽しみたい気持ちは失せていない。私の住む市の隣の大和市は、六十歳代を高齢者と呼ばないと宣言しているようで、他の市も見習う必要があると思う。確かに老いはだれにも公平にやってくるが、気持ちの持ち方でその進行を遅らせたい。人間は成長期のスピードに比べて老化の進行は、遺伝子多型により疾病発症の個人差が大きいようである。戦後の経済成長を牽引し日本を発展させてきた団塊の世代が大量に高齢者となり、若い世代の負担も増える世の中になるが、世代間で対立するのではなく共生する努力が求められているものと思われる。最近の疫学調査による知症になり難く寿命も長いらしい。人口減少が進む中、世代間で社会の在り方を笑顔で考える時期が来ているように思える昨今である。

## 「国際関係学部・短期大学部 食物栄養学科への思い」



日本大学短期大学部教授

小橋 恵津

日本大学国際関係学部校友会の皆様、桜栄会の皆様、日本大

学食物栄養学科に勤務しております小橋と申します。

私が、日本大学医学部から、食物栄養学科が四年生大学なる

からといわれ、この地に参りまして十年目に入りました。私は、

それまで消化器科・内視鏡の医師として駿河台日本大学病院に勤務し、現在も火曜日は駿河台

日本大学病院で診療致しておりま

す。消化器疾患は、ストレスや、食事と密接な関係がありま

す。又、グローバル化した現代において、各国の食事摂取と疾

病の関係についても大変興味があ

りましたので、国際関係学部

のある三島は魅力的な場所であ

り移動して参りました。しかし、

こちらに勤務して、短期大学部

が国際関係学部に取りまして、トカゲのしつぽ?の様な存在で

あることを知りました。多方面

でご活躍をされているすばらし

い実力のある先生方がいらっしゃ

るにも関わらず、食物栄養学科はとても規模が小さく、未だ短期大学部食物栄養学科専攻科のまま継続されているのがとても残念です。他大学はどんどん四年生に移行してしまいました。今年になりまして、国際関係学部長である渡邊学部長より、食物栄養学科の今後につきまして、伸展がありそうなお話をありました。今、食と健康は、国民的関心事であり、食品の栄養効果、疾病予防との関係が研究されています。厚生省も生活習慣病予防のため、栄養指導の充実を図っています。又、二〇二〇年の東京オリンピックの開催に当たり、選手強化のためにも、スポーツ栄養学の発展とニーズが益々高まつてくると思います。我が日本大学は相撲部を始め、各種スポーツが盛んで有り、沢山のオリンピック選手も輩出しています。食物栄養学科が4年生になり、沢山の優秀な管理栄養士、スポーツ栄養士を排出できるれば、日本大学の為にも、更なる貢献ができると考えております。今年の春休み、国際関係

大学部の角田教授のお力添えで、スペインのバジャドリード大学を訪問し、オスカル教授の紹介で、栄養科の先生とスペインの

疾病と食事摂取量の関係等の意

やるにも関わらず、食物栄養学科はとても規模が小さく、未だ短期大学部食物栄養学科専攻科のまま継続されているのがとても残念です。他大学はどんどん四年生に移行してしまいました。今年になりまして、国際関係学部長である渡邊学部長より、食物栄養学科の今後につきまして、伸展がありそうなお話をありました。今、食と健康は、国民的

関心事であり、食品の栄養効果、

疾病予防との関係が研究されて

います。厚生省も生活習慣病予

防のため、栄養指導の充実を図

っています。又、二〇二〇年の東京オリンピックの開催に当た

り、選手強化のためにも、スポ

ーツ栄養学の発展とニーズが

益々高まつてくると思いま

す。我が日本大学は相撲部を始め、

各種スポーツが盛んで有り、沢

山のオリンピック選手も輩出

ています。食物栄養学科が4年

生になり、沢山の優秀な管理

栄養士、スポーツ栄養士を排出

できれば、日本大学の為にも、

更なる貢献ができると考えてお

ります。今年の春休み、国際関係

大学部の角田教授のお力添えで、

スペインのバジャドリード大学

を訪問し、オスカル教授の紹介

で、栄養科の先生とスペインの

疾病と食事摂取量の関係等の意

見交換をする機会を得ました。

スペインには日本の様な国レベ

ルの国民栄養調査はなく、州単

位での統計などの事も知りまし

た。日本が見直され、一方地

もないくらいの忙しさでした。

娘の出産時も、前日まで工場で

力仕事をしていました。そして

二週間ほどで、仕事に復帰して

いたものでした。そのかわり、

娘の幼稚園の送り迎え・身の回

りの世話など、全て、両親にお

任せでした。両親がいてくれた

から、やつてこれたのですが、

その両親も私達と共に働きなが

ら、孫の面倒を見てくれていたの

で、大変なことだったと思います。

毎日が怒涛のごとく過ぎ、二〇

一年九月娘が結婚。娘も私と

同じように、頑張り屋のお嬢さ

んを連れてきてくれました。

最近娘から、「私は小さい頃

から、いつも一人でいろいろな

ところに預けられたり、おばあ

ちゃんばかりだった。本当は、

お母さんと一緒にいたかった。

」と初めて言されました。

その娘は今、一生懸命二人の子

供を育てています。私の様では

なく、充分愛情を注ぐ、子育て

中心の生活をしています。私は、

そんな娘たちを、近くでそつと

見守っています。

そして今思うことは

今まで全力疾走してきたから、

これから先の残りの人生は、主

人と二人、ゆっくり歩いていこ

うかな・・・ゆっくり、のんび

り・・・。

私は二十四歳で結婚を機に勤

めをやめ、家業を継ぐために、

り・・・。

見交換をする機会を得ました。

スペインには日本の様な国レベ

ルの国民栄養調査はなく、州単

位での統計などの事も知りまし

た。日本が見直され、一方地

もないくらいの忙しさでした。

娘の出産時も、前日まで工場で

力仕事をしていました。そして

二週間ほどで、仕事に復帰して

いたものでした。そのかわり、

娘の幼稚園の送り迎え・身の回

りの世話など、全て、両親にお

任せでした。両親がいてくれた

から、やつてこれたのですが、

その両親も私達と共に働きなが

ら、孫の面倒を見てくれていたの

で、大変なことだったと思います。

毎日が怒涛のごとく過ぎ、二〇

一年九月娘が結婚。娘も私と

同じように、頑張り屋のお嬢さ

んを連れてきてくれました。

最近娘から、「私は小さい頃

から、いつも一人でいろいろな

ところに預けられたり、おばあ

ちゃんばかりだった。本当は、

お母さんと一緒にいたかった。

」と初めて言されました。

その娘は今、一生懸命二人の子

供を育てています。私の様では

なく、充分愛情を注ぐ、子育て

中心の生活をしています。私は、

そんな娘たちを、近くでそつと

見守っています。

そして今思うことは

今まで全力疾走してきたから、

これから先の残りの人生は、主

人と二人、ゆっくり歩いていこ

うかな・・・ゆっくり、のんび

り・・・。

私は二十四歳で結婚を機に勤

めをやめ、家業を継ぐために、

り・・・。

見交換をする機会を得ました。

スペインには日本の様な国レベ

ルの国民栄養調査はなく、州単

位での統計などの事も知りまし

た。日本が見直され、一方地

もないくらいの忙しさでした。

娘の出産時も、前日まで工場で

力仕事をしていました。そして

二週間ほどで、仕事に復帰して

いたものでした。そのかわり、

娘の幼稚園の送り迎え・身の回

りの世話など、全て、両親にお

任せでした。両親がいてくれた

から、やつてこれたのですが、

その両親も私達と共に働きなが

ら、孫の面倒を見てくれていたの

で、大変なことだったと思います。

毎日が怒涛のごとく過ぎ、二〇

一年九月娘が結婚。娘も私と

同じように、頑張り屋のお嬢さ

んを連れてきてくれました。

最近娘から、「私は小さい頃

から、いつも一人でいろいろな

ところに預けられたり、おばあ

ちゃんばかりだった。本当は、

お母さんと一緒にいたかった。

」と初めて言されました。

その娘は今、一生懸命二人の子

供を育てています。私の様では

なく、充分愛情を注ぐ、子育て

中心の生活をしています。私は、

そんな娘たちを、近くでそつと

見守っています。

そして今思うことは

今まで全力疾走してきたから、

これから先の残りの人生は

で、期限を守る事はとても大変でした。が、頑張ればできる。と  
いう達成感を、先生方のお蔭で、  
味わうことができました。そんな  
経験が、教職の道を志すきっ  
かけにも繋がりました。

戦していきたいと思つています。  
最後になりましたが、皆様のご健勝とご多幸、さらなるご活躍をお祈り申し上げます。

## 「日本栄養士会会長 表彰受賞の重み」

静岡県栄養士会会長

坪井厚

師の依頼を受け、教職の道に進みました。しばらくして、他大学で単位の補充をし、結婚するまで勤めましたが、結婚後は子育てのため家庭に入りました。長男が小学校に入学したのを機に、復職して、以来教育の現場で今も働いています。私は、三人の子供の母となり、その子供達も、もうすぐ社会にはばたいていきます。家庭には、私が仕事を持つことで、多くの負担を

静岡県栄養士会会長 坪井 厚

の制度は、新生涯教育制度と名称を改め再スタートしました。これは近未来の国民の健康を支える大切な食文化を科学的根拠に基づき、国民に伝承する更なる専門家の育成が目的です。

河辺喜伊子さんは、この度の受賞が本校の後輩たちにとり、ぶれのない目標と夢の実現に役立てばと本校にお持ちくださいました。ひとりでも多くの学

受賞が本校の後輩たちにとり、  
ぶれのない目標と夢の実現に  
役立てばと本校にお持ちください  
いました。ひとりでも多くの学生  
が先輩の導きに沿い、日本学  
養士会会員となり生涯教育に参  
加し、社会で活躍することを願

がし、社会で活躍することになります。

とも考えましたが、家庭の励ましと強力を得て、仕事を辞めずに、ここまで頑張つてくること

養士・管理栄養士として国民や県民の健康の維持増進と栄養士会の発展に絶え間ない尽力をながれることの正用です。そして、

かできました  
これから時代、家庭を持つ  
男性も女性も子育てをしながら  
無理なく社会に出て、男性女性

かれた事の証明です。そして河辺さんを支え続けたその技術は、弛まぬ学習努力が支えたものであります。

桜栄会事務局より



## 平成25年度桜栄会收支報告書

入 の 部		支 出 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
会 費 収 入	0	会 報 発 行 費	0
国際蘭学部会員会費	50,000	通 信 運 搬 費	50,552
利 息 収 入	718	総会並びに懇親会費	0
雑 収 入	59,455	会 議 会 合 費	11,770
前 受 金	0	事 務 費	126,700
前 年 度 繰 越 金	3,834,742	雑 支 出	21,100
		次 年 度 繰 越 金	3,734,793
合 计	3,914,915	合 计	3,914,915

七借封照臺

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
普 通 預 金	1,082,793	次 年 度 繼 越 金	3,734,793
定 期 預 金	2,652,000	前 受 金	0
		繰 越 金	3,734,793
合 计	3,734,793	合 计	3,734,793

平成25年度収支について、関係帳簿並びに証憑書類を精査いたしましたが、記録その他正確であることを認めます。

会計監査 神戸 繩代

物産展予定日十一月一日二日  
物産展申し込み連絡先

学科研究室 担当 久保田

〈お知らせ〉

さいました谷井かほるさん（旧姓井上）が六月十六日病気によ

物産展は初めての試みでした  
で様々な反省点も多くござい  
ました。貴重な御意見も数多く  
貰えることができましたので次回  
催に生かしていきたいと考え  
おります。下記に今年度の物  
産展の予定日をお知らせいたし  
ますので、何卒会員様お誘い合  
せの上、御来場賜りますよう  
願い申し上げます。

りお亡くなりになりました。今  
物栄養学科二十三期生、卒業後  
は助手を勤め、退職後も日大の  
研究室事務に復帰され、母校の  
為御尽力下さいました。そして  
桜栄会の会計としての職務をき  
ちんと果たされた責任感の強  
い又、奉仕の精神に溢れた素晴らしい女性でした。心より御冥福  
をお祈りいたします。

桜栄会の皆様へ

桜栄会の皆様には、日頃から食物栄養学科・専攻科食物栄養専攻の教育活動にご理解とご協力を賜わりまして心から感謝いたします。

さて、今日少子化が進む中、大学への進学希望者は年々減少し、特に短期大学への進学者数は目の見えて減ってきております。本学科では、ほぼ定員は確保しているものの、大変厳しい状況が続いております。幸いにも本学科におきましては、現在に専攻科を開設し教育的には四年制大学と同等の教育や学士（栄養学）の取得、さらに大学院への進学も可能となり、教育水準も維持しております。歴史と伝統を有する本学科の維持・発展を期して、日々の教育・指導に一層努めてまいりますので、よろしくご支援のほどお願い申し上げます。なお、平成二十七年度の入試日程をご参照のうえ、お知り合いの栄養士資格の取得を希望される受験生や社会人の受験をご案内いただければ幸いです。また、管理栄養士を目指す学生の専攻科進学を進めておりますが、近年では社会人になられた卒業生も、さらに専門的知識や技術を習得し、管理栄養士を目指して入学されています。平成二十三年度より、管理栄養士国家試験対策室を立ち上げ、昨年度はそのサポート体制を整備し合格者を増やしています。なお、下記製菓衛生師コースは他校に比べ安価（一年間十五万円、二年間で国家試験受験資格取得）ですが、しっかりとした指導体制で毎年多くの皆さんのが国家試験に合格しています。通信制ですので、大学へは、年二回のスクーリングのみ参加です。ぜひチャレンジしてください。

平成 27 年度 日本大学短期学部(三島校舎)入学試験日程(食物栄養学科・専攻科食物栄養専攻、ビジネス教養学科)

専攻科 食物栄養専攻		食物栄養学科・ビジネス教養学科																			
区分	学内入試	一般入試	AO入試（第1期）	一般推薦		保健体育審議会推薦（第1期）	保健体育審議会	付属特別推薦	提携校推薦	付属推薦		大学入試センター試験利用C方式 (第1期)	一般入学試験 (N方式第1期)	一般A方式（東京・三島） (第1期)	AO入試（第2期）	外国人留学生・帰国生	社会人	大学入試センター試験利用C方式 (第2期)	一般A方式（東京・三島） (第2期)	校友会子女	保健体育審議会推薦（第2期）
				指定校制	公募制					推薦方式（A方式）	選抜方式（B方式）										
試験日	7月3日(木)	11月13日(木)	10月12日(日)	11月13日(木)				12月9日(火)		1月17日(土) 1月18日(日)	2月1日(日)		2月3日(火)	2月14日(土)		1月17日(土) 1月18日(日)	3月10日(火)				

上記日程については変更することがありますので、詳細については大学入試事務室(055-980-1919)までお問い合わせください。

## 管理栄養士国家試験対策 対策室開設

《介護職員初任者研修

平成二十三年四月より、旧管理栄養士国家試験強化講座を廃止し、「管理栄養士国家試験対策室」を立ち上げました。専用教室を設置し、四月から翌年三月までの十二カ月を、管理栄養士国家試験のための講座や模擬試験等を定期的に行つて、専攻科学生や卒業生の管理栄養士国家試験合格者数増を目的としています。平成二十七年度も、さらに、充実したものとしていく所存ですので、ぜひご参加願います。

「フードアナリスト」四級・三級

**学科で卒業生も取得できる資格**

**《製菓衛生師（国家試験受験資格）》**

平成十六年度から、食物栄養学科・専攻科食物栄養専攻では、「茨城県にある『つくば栄養調理製菓専門学校』との連携で、製菓衛生師国家試験受験資格を取得できる通信教育課程を開設しております。製菓衛生師とは、製菓・製パン業務に就く際に取得していることが望ましい唯一の資格で、近年の食に関する資格の中でも人気の高いものです。本学では、二年間の在学中に、通信学習（月一回の課題提出）、夏季と春季のスクーリング（各五日）および指導校研修（一日）で効果

ナリストの資格取得が出来るようになります。世界各国の食文化や食空間の演出法、テーブルマナーや食育など、「食」に関するあらゆる知識・教養を幅広く学び、食の事ならば何を聞かれても解説できる、何を依頼されても執筆できる「食情報のスペシャリスト」を育成する為の資格です。幅広い知識を身に付けたフードアナリストは、様々な分野で活動し、その活躍が多くのメディアで注目されています。本学にて一日の受講（含む認定試験）で四級の資格が取得可能です。今年度は十二月に開講予定です。また、四級の資格を取得した者は、三級受験資格があり、希望者が集まれば本学にて二日間の受講で取得可能です。

お問い合わせは、食物栄養学科研究室  
TEL..〇五五一九八〇一〇八四〇  
FAX..〇五五一九八〇一〇八四六  
E-mail:murofushi.makoto@nihon-u.ac.jp

# 日本大学国際関係学部校友会会則

## 第1章 総 則

### (名称)

第1条 本会は日本大学国際関係学部校友会と称する。

### (事務局)

第2条 本会は事務局を静岡県三島市文教町2丁目31番145号に置く。

## 第2章 目的及び事業

### (目的)

第3条 本会は会員相互の親睦と融和をはかり母校の発展に寄与すると共に母校建学の理念を社会に拡充することを目的とする。

### (事業)

第4条 本会は前条目的達成のために次の事業を行う。

- 1 会報発行・会員名簿の作成
- 2 会員相互の親睦と融和をはかるための諸事業
- 3 母校の発展興隆に関する諸事業への協力参加
- 4 その他目的達成のために必要な諸事業

## 第3章 会 員

### (会員構成)

第5条 本会は日本大学三島予科・三島教養部・文理学部三島・短期大学部（三島校舎）・専攻科食物栄養専攻・国際関係学部・大学院国際関係研究科の出身者および在籍した者による正会員と幹事会において本会に關係が深く功勞があると認められた特別会員・名誉会員並びに準会員である国際関係学部・大学院国際関係研究科・短期大学部（三島校舎）の在学生をもって構成する。

- 2 特別会員・名誉会員並びに準会員は議決権は有しないものとする。

### (会費)

第6条 会員は規程の定めるところにより、会費を納入しなければならない。

- 2 会費及び徴収方法は別に定める。
- 3 特別会員・名誉会員は会費を徴収しないものとする。

## 第4章 役 員

### (役員構成)

第7条 本会に次の役員を置く。

- 会長 1名  
副会長 若干名  
幹事長 1名  
常任幹事 若干名  
幹事 若干名  
会計監査 2名

### (顧問・参与)

第8条 本会は顧問・参与を置くことができる。

- 2 顧問・参与は幹事会の議を経て会長が委嘱する。

### (役員の選出)

第9条 会長は会長・副会長会議で推薦され、総会にて承認を得るものとする。

- 2 副会長は国際関係学部校友会を構成する各同窓会会长或は在学した者の代表者とし会長が推薦し、常任幹事会に報告するものとする。
- 3 幹事長は常任幹事から会長が推薦し、常任幹事会に報告するものとする。
- 4 常任幹事から庶務担当・会計担当を幹事長が指名し、会長・副会長会議に報告するものとする。

### (任期)

第10条 各役員の任期は3年とし、再任は妨げない。ただし満80歳をもって定年とする。なお、期間は当該年度内とする。

- 2 欠員が生じたときは、必要に応じて補選し、その任期は前任者の残存期間とする。
- 3 任期満了した場合においても、後任者が就任するまでの間その職務を行う。

### (役員の職務)

第11条 会長は本会を代表し会務を総括する。

- 2 副会長は会長を補佐し、会長事故あるときはその職務を代行する。
- 3 幹事長は事務を統括し、本会運営に必要な一切の事務事項を遂行する。
- 4 常任幹事は幹事の互選により選出し、常任幹事会を構成、本会業務の遂行にあたる。
- 5 幹事は幹事会を構成し、本会運営の諸事項の議決にあたる。
- 6 顧問・参与は本会の重要事項につき、会長の諮問に応ずるものとする。

なお、顧問・参与には役員に関する規定を準用する。

## 第5章 会 議

### (会議及び議決方法)

第12条 本会の会議は、総会・会長、副会長会議・常任幹事会・幹事会の4種とする。

2 会議は会長が招集し、議長団はその都度選出する。

3 やむを得ない場合は、常任幹事会及び幹事会をもって総会に代ることができる。

### (会議の構成及び開催)

第13条 本会は目的達成のため下記の機関を置く。

2 総会は本会運営上の諸事項についての報告を受けこれを承認する。

総会は年1回開催するものとし会長がこれを招集する。

3 常任幹事会は常任幹事以上の役員を以て構成し本会の執行機関として本会の実質的運営にあたる。常任幹事会は必要に応じて隨時会長がこれを招集する。常任幹事3分の1以上の要求があった場合はこれを招集しなければならない。

4 幹事会は総会の代行機関として第14条の事項を付議し、これを議決する。

幹事会は年1回以上開催するものとし会長がこれを招集する。幹事3分の1以上の要求があった場合は臨時に招集しなければならない。

5 事務局は幹事長指示のもと会員相互の連絡及び各会議の議事の収録並びに運営に必要な一切の事務を行う。

### (総会の審議)

第14条 総会は次の事項を審議し議決する。

2 会則及び重要規定の制定、改廃に関する事項。

3 事業計画に関する事項。

4 予算・決算に関する事項。

5 会長の選任に関する事項。

6 その他第4条に基づいて必要と認められた事項。

## 第6章 支 部

### (支部の設置)

第15条 本会は円滑な発展と交流の促進のために支部を設けることができる。

2 支部の設置条件及び方法は別に定める。

## 第7章 会 計

### (会計年度)

第16条 本会の会計年度は4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

### (経費)

第17条 本会の経費は、会費並びに寄付金その他の収入を以てこれを充てる。

### (会計監査)

第18条 会計監査は本会会計及び財務について監査し、その結果を総会にて報告する。

## 第8章 会 則

### (会則変更)

第19条 本会の会則の変更は総会の議を経てこれを決する。

### (会則の遵守)

第20条 国際関係学部校友会は日本大学校友会会則及び支部規程を遵守しなければならない。

### (施行細則)

第21条 この会則に必要な細則は会長・副会長会議及び常任幹事会の議決を経て会長がこれを施行する。

## 第9条 表 彰

### (表彰)

第22条 本会の目的及び事業に貢献した者は幹事会の議を経て、これを賞することができる。

2 卒業予定者及び在学生に対する会長賞等の表彰規定は別に定める。

## 第10章 除 名

### (会員除名)

第23条 会員が次の事項に該当した行為があったときは幹事会の議を経て除名することができる。

2 国際関係学部の名誉を傷つけ、また校友としての品位を害する言動があったとき。

3 校友会の秩序を乱したとき。

4 故意または重大な過失により校友会に損害を与えたとき。

付 則 本会則は平成23年8月1日より施行する。

# 日本大学校友会組織図

日本大学校友会(校友会本部事務局)

都道府県支部(65 支部)

北海道ブロック(札幌・旭川・稚内・小樽・帯広・留萌・苫小牧・網走・釧路)  
東北ブロック(青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島)  
関東ブロック(茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・神奈川・川崎・山梨)  
東京ブロック(東京都第一・東京都第二・東京都第三・東京都第四・東京都第五・  
東京都第六・東京都第七)  
東海ブロック(岐阜・静岡・愛知・三重)  
北信越ブロック(新潟・富山・石川・福井・長野・長野北信)  
近畿ブロック(滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山)  
中国ブロック(鳥取・島根・岡山・広島・山口)  
四国ブロック(徳島・香川・愛媛・高知)  
九州ブロック(福岡・北九州・佐賀・長崎・佐世保・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄)

学部別部会(16 部会)

本部大学院・法・文理・経済・商・芸術・国際・理工・生産工・工・医・歯・松戸歯・生物資源科・薬・通信

職域別部会(4 部会)

全国桜師会・桜門会計人会・日本大学法曹会・全国桜門スポーツ部会

桜門会(80団体)

海外特別支部(8 支部)

韓国・ブラジル・ロサンゼルス・台湾・サンフランシスコ・スペイン・インドネシア

# 日本大学国際関係学部校友会組織図

国際関係学部校友会  
(旧三島同窓会)

三島豫科  
三島教養部  
文理学部(三島)

短期大学部  
桜文会(国文・英文)  
商経科同窓会(1・2部)  
桜栄会(栄養・家政・食栄・生活)  
工科同窓会(建築・機械)

国際関係学部同窓会